

あおやぎ

No.296
2024年1月



MRI 機器更新について ② ③

健康指導シリーズ第6回

乳がん ～ブレスト・アウェアネスについて～ ④

紹介受診重点医療機関 ⑤

外来診療費のお支払いについて ⑤

外来診療案内 ⑥



MRI 機器更新について

放射線部 大西 信博

昨年、令和 5 年 5 月に 1.5T の MRI 装置を更新しました。

新しい機器：Philips 社製 Ambition1.5T

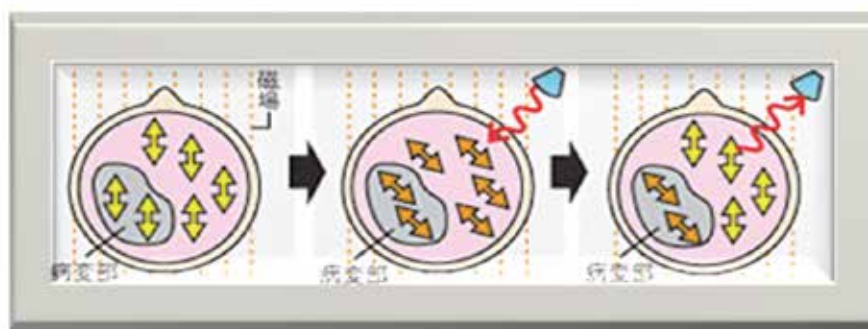
MRIとは・・・

Magnetic (磁気) ・
Resonance (共鳴) ・
Imaging (画像化する)
の略で磁気共鳴画像法の
事を言います。



MRIの原理とは

- 1、患者さんに磁石 (MRI 装置) の中に入ってもらい体内の水素原子に電磁波を照射します。
- 2、その照射を止めたときに患者さん (生体) から発生される電磁波をアンテナで受信し、それを電気信号に変えて画像化します。



特徴と注意点

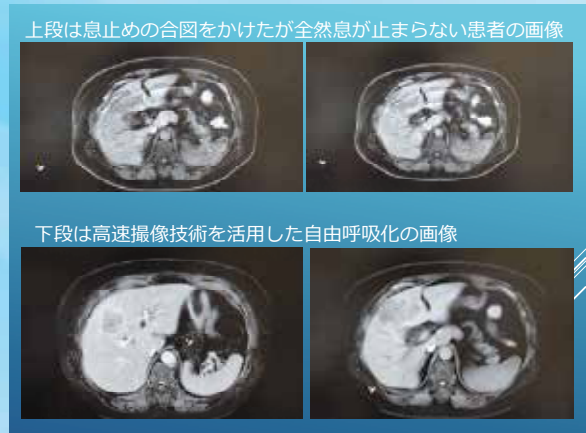
- ・放射線を使わないので被ばくしません。
- ・検査で使用する電磁波を発生させるために大きな電流と大きな磁場が必要になります。
- ・大きな磁場の影響で金属性の持ち物は装置に吸着したり、携帯電話やカードなどは故障してしまうため、検査室内には持ち込めません。
- ・磁場の大きさはテスラ (T) で表します。当院では今回機器更新した1.5Tと、より磁場の大きい3.0T装置 (現有機) の2台体制で検査しています。

新しい機器の機能紹介

①高速撮像技術の向上

高速撮像法やAIテクノロジーを使用することで、画像を今まで以上に鮮明に見やすく撮像でき、且つより短時間で撮像することが出来るようになりました。そのため「息止めが難しい」「長い時間寝てられない」方々に対しても撮像できるようになりました。

その他、全体的に性能が向上し一人当たりの検査時間も10分程度短縮され、患者さんの検査負担も減りました。



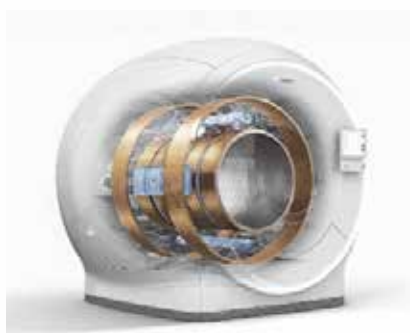
②バイタルアイ

今までの腹部検査時はお腹にセンサーを置いて呼吸を把握させ、機械に呼吸の動きを感知させて検査していました。しかし新しい装置では、装置から出る赤外線センサーを使って腹部の呼吸による動きを検知して検査ができるようになりました。また、咳やくしゃみなどの不規則な動きも検知して突発的な動きの信号を排除して同期をかけることにより、きれいな呼吸同期画像が撮れるようになりました。



③ヘリウムフリー

今までのMRIの装置では1500ℓの液体ヘリウムが必要でしたが新しい装置ではわずか7ℓで検査可能な状態（超電導状態）を維持することが出来るようになりました。予期せぬ事故においてもヘリウムの外部排出がなくなるので、ヘリウムの再充填などの余計なコストが掛かりません。



また、今までは予期せぬ吸着事故や災害発生時の際は、磁場を落として再度検査できるようになるまで1週間ほどかかりましたが、この装置はユーザーで消磁し吸着物を取り除いた後、比較的短時間（約5時間ほど）で再検査ができるようになりました。

健康指導シリーズ 第6回

乳がん ～ブレスト・アウェアネスについて～

乳腺外科 工藤 俊

女性にとって、なによりも心配してほしいのは、乳がんではないでしょうか。今、乳がんは、日本人女性の9人に1人がかかる病気といわれ、年々増加しています。治療の進歩で助かる人も多くなってきていますが、なんといっても大切なのは、早期発見・早期治療です。乳がんの早期発見の秘訣は「乳がん検診」を定期的に行うこと、加えて、乳房セルフチェックなど「ブレストアウェアネス」という習慣を身につけることにあります。

ブレストアウェアネスとは1990年代に英国で提唱された概念で、わが国では「乳房を意識した生活習慣」と定義されています。その実践に際しては

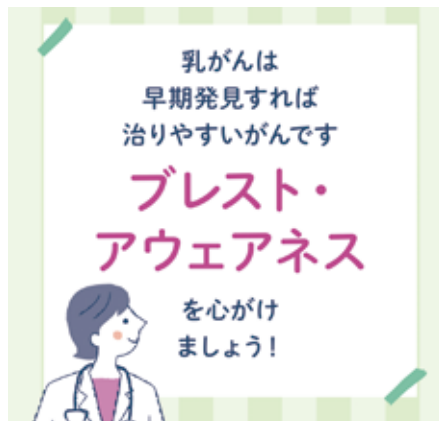
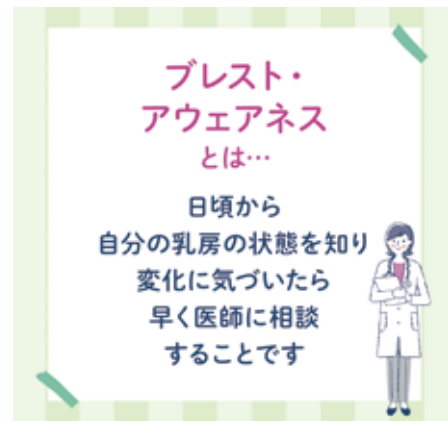
- (1) 自分の乳房の状態を知る
- (2) 乳房の変化に気を付ける
- (3) 変化に気付いたらすぐ医師へ相談する
- (4) 40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける

以上の4つのポイントがあります。今、女性自身が自分の乳房の状態に関心をもって生活する健康教育として、ブレストアウェアネスの啓発が進められています。

まずは、普段の乳房と変わりがないかという気持ちで気軽に「乳房チェック」をする生活習慣を身につけましょう。

乳がんの主な症状は、しこり、皮膚の凹みや血性乳頭分泌、痛みなどです。でもそれがイコール乳がん確定ではありません。良性のことも十分あります。なにか乳房の変化に気がいたら、あわてずあせらず、医療機関に相談するようにしましょう。

そして、40歳からは、2年に1度のマンモグラフィ検診を受ける事が大切です。現在、乳がん死亡率減少効果が科学的に証明されている検査方法は、40歳以上の女性に対して行うマンモグラフィによる検診だけです。乳房に変化が無くとも、40歳になったら2年に1度のマンモグラフィ検診を受ける習慣をつけてください。まだ検診を受けられる年代ではない20～30代の若い人でも、このブレストアウェアネスの習慣を身につけてください。



乳がんは早期に発見、治療すれば治りやすいがんです。ぜひブレストアウェアネスを心がけましょう。

紹介受診重点医療機関について

医事相談課

当院は令和5年8月1日から、山形県内の医療機関の中で、「紹介受診重点医療機関」として、山形県ホームページ上で公表されています。

紹介受診重点医療機関とは、外来受診の際に、クリニック・診療所である「かかりつけ医療機関」からの紹介状が必要となる医療機関のことです。この制度の目的は、かかりつけ医療機関との役割分担を明確にし、紹介受診重点医療機関において、質が高く効率的な外来医療の提供体制を確保することとされております。

患者さんは、かかりつけ医療機関を受診後、専門的な検査や治療が必要と判断された場合、必要に応じて当院も含めた紹介受診重点医療機関に紹介状が発行され、紹介先の紹介受診重点医療機関を受診します。状態が落ち着いた後は、かかりつけ医療機関により、経過を診てもらいます。このように外来機能の役割分担を行うことで、紹介受診重点医療機関では、適切な検査や治療をさらにスムーズに受けられるようになり、待ち時間の短縮なども期待されます。

なお、当院も含めた一定規模以上の対象となる病院では、紹介状を持たずに外来受診する患者さんからは、一部負担金（3割程度等）とは別に、「特別の料金」を徴収することが義務付けられております。当院では、他の医療機関の紹介状なしに当院を初診で受診する場合、及び自己の判断で当院内の新たな診療科を受診する場合には、非紹介患者初診加算料7,700円（助産に該当する場合は7,000円）を負担いただきます。また、他の医療機関への紹介を行った後に患者さん自らの希望で継続受診する場合は、再診加算料3,300円（助産に該当する場合は3,000円）を負担いただきます。

患者さんには、かかりつけ医療機関を受診し、必要に応じて紹介を受ける等、医療機関の機能・役割に応じた適切な受診を行うよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



外来診療費のお支払いについて

経営戦略課 会計係

- (1) 外来の診療費は、診療当日に、1階に設置してある「自動支払機」もしくは「支払窓口」でのお支払いをお願いしております。
- (2) 診療費の院内でのお支払いには、現金の他、クレジットカードもご利用できます。
 - ①クレジットカード利用の際は、暗証番号による本人確認が必要です。
 - ②ご利用可能なクレジットカード



- ③ご利用できる支払いの種類は、一括・分割・リボルビング払いです。

※分割可能な支払回数は、お持ちのクレジットカードによって異なります。

- (3) 土・日・祝日や時間外のお支払いは、救命救急センター内の自動支払機をご利用ください。
《お願い》 診察を受ける際は、診察券及び保険証（マイナカード含む）や身分を証明するものを忘れずに
ご持参いただき、受付窓口に提示してください。

ブロック	診療科	診療曜日					ブロック	診療科	診療曜日				
		月	火	水	木	金			月	火	水	木	金
A	内科	●	●	●	●	●	D	産婦人科(産科)	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	呼吸器内科	△	FAX 予約のみ	△	△	FAX 予約のみ		産婦人科(婦人科)	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ
	血液内科	△	△	△	●	△		頭頸部・耳鼻咽喉科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	糖尿病・内分泌内科	△	△	●	△	△	E	小児科 新生児内科	●	●	●	●	●
	循環器内科	●	●	●	●	●		小児外科	△	● 午後のみ	△	△	● 午後のみ
	消化器内科	●	●	●	●	●		皮膚科	●	●	●	●	●
B	整形外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	△	形成外科	●	△	●	△	●	
	眼科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状 10:30まで	● 要紹介状	F	外科	●	●	●	●	●
	歯科口腔外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ		呼吸器外科	△	●	FAX 予約のみ	△	●
脳神経外科	●	●	●	●	●	乳腺外科		●	●	●	△	●	
C	泌尿器科	● 要紹介状	△	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	緩和医療科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	
	心療内科	△	△	△	△	△	放射線科	放射線科	●	●	●	●	●
	脳神経内科	●	△	●	△	●							

当院を受診する時は

◎初めて受診される方

- ・総合受付(初来院受付)に診察申込書、問診票及び紹介状(紹介状をお持ちの方)を提出のうえ、受付してください。
- ・総合窓口受付開始時間までは番号札をとってお待ちください。

◎再来の方

- ・予約の有無に関わらず、再来受付機で受付してください。
- ・再来受付機は、午前7時30分からご利用になれます。

◎保険証または保険証利用登録の済んだマイナンバーカードのご提示がないと全額自己負担になります。

マイナンバーカードをご利用の際は、顔認証付きカードリーダーへの登録操作が必要になります。

◎「お薬手帳」をお持ちの方はご持参ください。

紹介型外来について

現在、当院においては、一部診療科の外来診療の初診について、紹介型外来による医療提供を実施しており、緊急の場合を除いて、紹介状をお持ちの方のみの受付に限らせていただいております。

- 初めの方・予約の方は受診できます
- △ 予約のある方のみ受診できます

呼吸器内科(火・金)・歯科口腔外科・整形外科・婦人科・呼吸器外科(水)は「かかりつけの先生」からのFAX予約が必要です

※内科の火曜・金曜日は症状によっては受付をお断りする場合があります。

非紹介患者初診加算料及び再診加算料について

【令和4年10月1日から金額が変更になりました。】

他の保険医療機関からの紹介がなく、直接当院へ来院された患者さんは、初診に係る費用「非紹介患者初診加算料」として7,700円(税含む)を頂いております。また、当院から他医療機関(大病院を除く)への紹介の申し出後に、当院を受診した患者さんからは「再診加算料」として、3,300円(税含む)を頂いております。ただし、助産にかかる療養費等の場合は、非課税となります。
※緊急入院等の場合は除きます。

再来患者さんからの電話予約及び予約変更については、患者サポートセンターで受付けております。

TEL 023-685-2620 (13時～16時)

「かかりつけの先生」からのFAX予約も受付けております。

FAX 023-685-2606 (平日/8時30分～18時 土曜/8時30分～14時30分)